



自然の驚異が公津の杜にも襲いかかりました！

9月8日の夜半から9日の未明にかけて台風15号が千葉県を直撃しました。千葉県内では送電線の断線などにより、いたる所で停電や断水が発生しました。幸いにも、もりんぴあは停電・断水にはなりませんでしたが、館内では風除け室や「なかよしひろば」に雨漏りがするなどの被害を受けました。図書館では西側のガラス面の天井から雨水が滴り落ちて机がびしょ濡れになって一部が使用できなくなり、利用者にはご不便をおかけする事態となりました。館の周辺では、公津の杜小学校に渡る信号付近の街路樹が折れるなどの被害が発生しました。

また10月12日には台風19号が猛威をふるいました。交通機関が運休し、休業になる店舗も出る中、もりんぴあこうづも開館から6年半で初めて荒天による臨時

休館となりました。台風15号の経験による備えもあって、19号ではもりんぴあに大きな被害はありませんでした。

10月25日には、台風21号と低気圧の湿った空気の影響により記録的な大雨となりました。雨の影響により駐車場の発券機や精算機でのトラブルが多発したほか、もりんぴあと小学校の間の道路で冠水が発生しました。市内の様々な場所で起きた冠水では、車が動けなくなってしまうこともありましたが、もりんぴあ前の冠水は市職員により排水口の処理がなされて大事には至りませんでした。

この大雨により、利根川や印旛沼などが氾濫の恐れがあると発表されたり、近年経験したことのない荒天となり、改めて自然災害に対する心構えと普段からの備えを考えさせられることとなりました。

この度の台風と大雨により被害にあわれた皆様には、改めてお見舞い申し上げます。



新事業が目白押しの秋

今秋、公津の杜コミュニティセンターでは、いくつかの新事業を展開しました。

■ 9月14日(土)、15日(日)に「グランドピアノ一般開放」が行われました。この事業は、グランドピアノをより多くの人に弾いてもらいたいという思いから始まりました。グランドピアノがある MORI×MORI ホールは土日祝日に予約が入っていることが多いため、土日このイベントを開催するのは難しいと思われましたが、この2日間は一般の利用がありませんでした。ホールの予約が1ヶ月前で締め切られるため、一般の予約が入らないと確定するまでイベントの募集はできません。イベントの開催まで1ヶ月を切ったからの募集となりましたが、すぐに枠が埋まるほど、好評でした。

■ 9月17日(火)から全3回にわたって「はじめての押し花教室」が行われました。Seven Lights 新井智絵さんを講師に迎え、はじめて押し花に挑戦する人にも分かりやすく、生花から水分を抜いたり、脱酸素剤を使ったりという作り方を指導していただきました。参加者からは切り方のコツや花の色を保つ秘訣などの質問があり、積極性が感じられました。最終回の3回目には、額に入れるところまで完成しましたが、額をさらにデコレーションしたりとカスタマイズする声も聞かれ、学んだ知識を生かした今後の作品づくりが楽しみになりました。

■ 11月6日(水)には、講師 小川京子さんによる離乳食セミナーが行われました。昨年までの離乳食セミナーは、試食などはあったものの、講師が用意したもので、座学が中心でした。しかし今回は3階のキッチンスタジオで実際に食材を湯通ししたり、ブレンダーにかけたりして作り方をみて学びました。みなさんお子さんを抱えての参加だったため、実際に調理することはありませんでしたが、資料だけ見て学ぶのとは違い、手順・手際などを実際に見ることが出来たことはよかったのではないのでしょうか。最後には、それぞれが抱えている悩みや不安に思っていることについての相談に講師が答えていました。

■ 11月9日(土)に「もりんぴあ大人ゼミ～万葉集を読み解く～」を開催しました。新元号「令和」の典故となった万葉集の歴史的背景などをなぞりながら、古典の奥深さを楽しむ講座。東洋学園大学人間科学部教授の増満圭子さんに解説して頂き、奈良時代を振り返りながら編者がどういった人物だったかなど詳しく、丁寧に教えて頂きました。12月・1月と続き、より深く読み解いていきます。



図書館だより

図書館で認知症予防！

10月6日にもりんぴあMORI×MORIホールで 図書館講座「認知症予防は図書館で！」を開催しました。図書館に行くときは早足で運動しながら行く、声を出して本を読み、脳をフル活用するなど、図書館を利用して、いつまでも元気に過ごす方法を学びました。講師の結城俊也先生の『認知症予防におすすめ図書館利用術』(日外アソシエーツ)は公津の杜分館で所蔵しています。



成田市立図書館開館 35 周年



開館 35 周年記念イベント「わたしのおすすめ本」を募集しています。ほかのひとにおすすめしたいお気に入りの 1 冊を教えてください。皆さんからのおすすめ本と紹介文は公津の杜分館で展示をしています。

3 月の発表会に向け始動しました

10月19日(土)と11月9日(土)・23日(土)にスタジオ 2 で演劇ワークショップを開催しました。「新しいことに挑戦したい!」「人前にするのが苦手だから克服したい」など演劇を通して殻をわってもらおうと始めた企画。全 11 回の練習の後、3 月の MORI×MORI ホールでの発表を目指します。

10月11月の練習では、全客席に声を届かせるために必要な発声練習を中心に、今回の演目となる「100 万回生きた猫」のお話紹介と台詞の読み込みが行われました。この後、配役を決めたり本格化。本番が楽しみです。



10 月末の風物詩、世代間交流も!

10月27日(日)に「ハロウィン in KOZU」が行われ、22 人の子どもたちが思い思いの仮装でハロウィンを楽しみました。15 人の子どもたちは、キッチンスタジオでコウモリやパンプキン、ブラックキャットなどのハロウィンにちなんだクッキーを焼き上げました。その後は、グループホーム「きらら公津の杜」まで街歩き。そこでは利用者の方々が仮装してお迎えしてくれ、子どもたちに沢山のお菓子を渡してくれました。



なかよしひろばだより

“こうづのもりプレママサロン”を開催しました。

11月16日(土)初めての赤ちゃんを迎えるママパパを対象としたサロンを 2 階の会議室で開催しました。(なかよしひろばを受託している NPO 法人親そだちネットワーク ビジー・ビー主催)

マタニティーピラティスで体を動かしてスッキリした後は、プレママと先輩ママで交流しながらティータイム。もりんぴあのカレー販売でお馴染みの、フレンズさんに作ってもらった体に優しいクッキーとカフェインレスのお茶でほっこりしつつ、お話が弾みました。生後 1 か月の赤ちゃんの抱っこ体験もでき、皆さんとても喜んでいました。ちょっと先のことをイメージだけでなく実感できたようでした。また、パパの転勤で成田に来たプレママは「皆で交流できて楽しかった」との感想。地域にこんな人たちがいて、もりんぴあのような場所があると知ったことで、安心して子育てが出来るようになると良いですね。



窓に子どもたちとペイント

イラストレーターのおにいさんとなかよしひろばを利用している親子と一緒に描きました。通りかかった小学生さんも参加して楽しい窓になりました。是非ご覧下さい。



おまけの 1 枚



10月1日よりスタジオ 1 におけるシンセサイザーの単品貸しを開始しました。管楽器やコーラス練習の音とりなどにご利用ください。ご利用ニーズに合わせ、備品を新設しますので、お気軽にお申しつけください。

編集後記

双子の娘の親である私 K。授業参観に行くとそれぞれのクラスで同じ重さについての授業をしていました。両教室の間の廊下に立ち、授業を観察。姉の方は、やり方を考えさせる時間を長くとっていました。妹の方では、やり方を早くに教え重さについて慣れさせる時間を長くとっていました。どちらが正解とかはありませんが、こう比較できるのは双子ならではの(笑) (K)

白内障は鬱陶しい。その目で描き続けた画家は 84 歳で手術を受けて二年後に没した。最晩年の絵はクレマンソーがオランジュリーに用意した楕円室の壁面に残された。爾来、来訪者は忘我至福の時間を体験することになる。「波・風・光に浮き沈む 底翳の画家かく重層に睡蓮を見き」(T)

公津の杜コミュニティセンター
(指定管理者 アクティオ株式会社)
発行人: 田村 修 編集: 鹿嶋 聡明
〒286-0048 千葉県成田市公津の杜4丁目8番地
TEL: 0476-27-5252 FAX: 0476-27-5353
E-mail: info-kozu@morinpiakozu.jp HP: http://morinpiakozu.jp/

もりんぴあ
こうづ
Morinpia Kozu